



なんのために机間指導をするのでしょうか?

机間指導の目的を明確にしましょう

- 【例】
- ① 全員が課題を把握しているかどうかを確認する。
 - ② 一人一人の学習や作業の進み具合を確認したり、評価したりする。
 - ③ 質問に答えたり、つまずきに対して助言を与えたり、賞揚したり、方向性を示唆したりするなど、個に応じた支援を行う。
 - ④ 一人一人の反応や考えを把握し、話合いや学級全体の学習への生かし方を考える。

机間指導が苦手なA先生の場合

態度面が気になる子供のところに直行

「2つに分ける」の意味が分からない

指示を理解していない?

遊ぶブロックでいいでしょ!

すでにできている

先生の話を聞いて分からないんだよ

ブロックを並べて...

やりにやりに分らない

なにをしたらいいの?

先生 できたー わたしもー

あ、もう時間

みんなできた? もう少し時間をあげようか

飽きている

あきらめている

できた人から発表して!

2こと3ことに分けられますか?

みんなはどう?

「同じぞー」

机間指導が得意なB先生の場合

ここがポイント①
1回目は全体を俯瞰して見ましょう。

指示が通っていないと判断した場合は、全員の手をいったん止めましょう。

5このブロックをいくつかつといくつかつに分けるとい指示は通っているな

すでに1つ目の分ける方を見つけた子が7割

3割が止まっている子がいる

ここがポイント②
子供たちのつまずきを予め想定し、手立てを用意しましょう。

「2つに分ける」の意味が分からない子への手立ては...

Cさんが2つ目の分け方を見つけたんだって。すごいね! 自分でどんな勉強できるんだね!

なんとDさんは見つけたことをノートに書いているよ

みんなで共有

さりげなく

まだ1つもできていない人は前においで

ここがポイント③
できた(と思っている)子供の思考を揺さぶる発問を用意しましょう。

本当にそうですか? 証明できますか?

見つけ方を4つも見つけたという人がいるんだだけで...?

本当にそれで全部かな? どうやったなら分かる?

ここがポイント④
本時のまとめにつながる意見や考えを意図的に取り上げましょう。

図と式を関連させたいからまずはCさんの考えを取り上げよう。

学び合う場面で取り上げよう。数字が大きくなっても分け方を全部見つけるときに有効だし...

順番に書いている。4)と3)と2)と1)の順

ただ漠然と見て回っているだけでは「机間指導」にならないということです。

かつては「机間巡視」という言葉が使われていましたが、「机間指導」は一人一人の学びを保障し、授業を活性化させる大切な「指導」です。効果的に行いましょう。